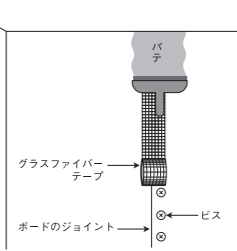


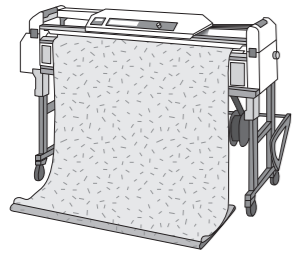
■下地処理

合板下地の場合は、アク止めシーラーを塗ってください。
モルタル・珪酸カルシウム板へは、適切なシーラーを塗ってください。



- 1 下地のパテは通常よりもていねいに仕上げてください。
カラーワークスペーパーは平らな紙の為、パテなどの不陸が出やすくなっておりますので、下地処理を十分に行なってください。

■糊付け

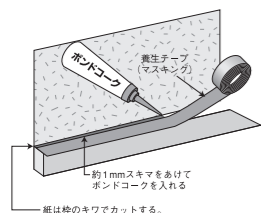


- 1 外表で巻いてあります。糊付け機に逆向きにセットしてください。
- 2 原液使用タイプの糊をお勧めします。
希釈タイプの糊は、水を少なく、濃い目に溶いてください。
- 3 糊は多めに付け、石膏ボードにしっかりと圧着してください。
- 4 糊付け後は密封できる袋などに入れて乾燥を防ぎ、長時間の付け置きはしないでください。
(折り目がつくと取れませんのでご注意ください)
- 5 糊付け後の紙の伸び縮みはほとんどありません。

■張りつけ



- 1 紙のジョイントは突き付けで、合わせ切りする必要はありません。
(ジョイントは塗装すれば目立たなくなります)
- 2 合わせ切りする時には下敷きを入れ、石膏ボードの紙を切らないようにしてください。
(紙を切ると塗装後に目開きが起きる原因になります)
- 3 入角はカットしてボンドコークを入れ、廻し張りはしないようにしてください。
(引渡し後に入角が割れたら再度ボンドコークを入れて塗料を塗るだけで補修できます)
- 4 枠周りや巾木などの取り合いは壁際でカットして、ボンドコークを薄くいれてください。
- 5 湿度85%以上、または気温5℃以下での施工は避けてください。
- 6 紙を張った糊が十分乾燥した後に塗装してください。
(晴れた日で8時間以上)



- 1 手垢等による部分的な汚れは、中性洗剤を溶かした水を雑巾やスポンジに含ませて柔らかく拭き、もう一度水でしぼった雑巾で拭き取ってください。洗剤のいらぬメラミンスポンジなら、水を含ませて軽くこするだけで良く落ちます。
- 2 雑巾掛けで取れない場合は、残しておいた補修用塗料を筆などで周囲をぼかすように上塗りを行なってください。
- 3 小さなキズは、残しておいた補修用塗料で塗装すれば直ります。
- 4 壁紙がはがれても、紙が残っていれば裏に糊を付けて押さえて元に戻します。
糊が乾いてから、筆などで周囲をぼかすように上塗りを行なってください。
- 5 全体的に汚れてきたり、雰囲気を変えたいときは、そのまま塗り重ねができます。
壁紙を剥がさずに塗り替えは10回程度可能です。
タバコのヤニなどで壁面の汚れが著しい場合は、水性ヤニ止めシーラーを塗装してから上塗りしてください。

無塗装施工について

カラーワークスペーパーは塗装仕上げの風合いを良くする為の下地調整紙です。
素地のままでは、下記のような問題がありますので、お勧めしておりません。

無塗装の問題点

- 下地のパテの色が透けて見える場合がある。
- 紙と紙のジョイントがはっきりとわかる
- 汚れやキズが付きやすく、一旦付くと取れなくなる。
- 無塗装のままでは補修ができない。

上記のことが問題となりかねますので塗装していただく事をお勧めしております。

株式会社カラーワークス
〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野1-1-40 TEL: 046-278-3029 FAX: 046-272-7200
ホームページ <http://www.colorworks.co.jp>

COLORWORKS